



クロスワードタイム

新年度となりました。クロスワードで一休みしましょう。

二重枠の文字を並び替えると答えが出ます。答え、郵便番号、住所、氏名、加盟組合、Compassの感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。正解者の中から抽選で30名様にクオカードを贈呈します。

■め切：5月27日(月) ■宛先：mail → info@nikkenkyo.jp はがき → 〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 ワイム高田馬場ビル3F 日建協クロスワード係

ヒント：20年ぶりに変わります

1	2	3	4	5	6	7	8
9				10			
11		12					
13		14		15			
16				17			
18						19	20
				21		22	
23	24		25		26		
27			28		29		30
	31				32		

ヨコのカギ

- トラック、バス、乗用車などが走行するための道路のこと。歩行者、自転車などは通行が制限される。
- 人が何かをするかしないかを決める心の動きや、その決定そのもの。
- 何かが役に立つことや、良い結果やメリットをもたらすこと。
- 日本武道館が近くにあり、東西線、半蔵門線、都営新宿線が乗り入れている駅。
- 十二支の干支では第2番目。2021年は〇〇年でした。
- 生まれながらにして特別な能力を持っている人のこと。
- バイクに対して4つのタイヤがついている自動車のことを指す。
- 偉い人物の生涯や業績を紹介する物語のこと。
- 日本では当初「ホームページ」の名称で紹介されたが、現在は〇〇〇が浸透しつつある。
- 岩盤が急激にずれ、このズレが表面に達すると揺れる現象のこと。
- 参加者がそれぞれ役割を与えられ、話し合いを通じてゲームを進めるパーティーゲーム。
- 命を〇〇〇〜。犠牲となることをも覚悟して、という意味合いの表現。
- 自分が他の人に敗れることを嫌がり、いつも勝とうとする強い気持ちのこと。
- 金管楽器や打楽器を中心とした楽団のこと。
- 二つそろって一組になっているもの。ペア。
- 休日に趣味でする簡単な木工やDIYなどの作業。
- 建物の屋根を覆うために使われる建材で、主に粘土を成形して焼き固めたもの。
- 何かの障害や問題を回避するために選ぶ、間接的な方法や遠回りの道のこと。

タテのカギ

- その場や状況で、他の人々に比べて特に大きな役割を果たしている人。
- 中心が同じだが、半径が異なる複数の円のことで、十分な食べ物がなく、体が必要とする栄養を得られない状態。
- 記念日、大切な出来事などを祝うために行われる行事のこと。
- 国家を支配して権力を乱用する統治を行う者。
- 奈良〜平安時代の律令制度で最高位の官僚。童謡「うれしいひなまつり」で白酒を飲み赤い顔に。
- 人々が、言葉に頼らずに、心と心を通い合おうとする。
- 口の中にあって、飲み込むとき、味を感じる時、話すときに重要な役割を果たす。
- サーロインと並んでステーキの高級部位として有名。霜降りになりやすく、柔らかく口溶けも良い。
- 公共の場所や建物の上に塔が設置され、遠くからでも時間を知ることができる。
- 実現しようとする目当てに対して間違いの無いこと。
- 長さの単位で、主にアメリカ合衆国などで使われる。1単位は約2.54センチメートルに相当。
- 高品質な写真撮影機材を製造しているドイツの有名なカメラメーカー。
- 豆を乾燥させて作られる香りの良いスパイス。アイスクリームの最も代表的なフレーバー。
- 年4回、立夏、立秋、立冬、立春の直前18日間を指す。丑の日には多くの人がウナギを食べる。
- 昆虫が成長して羽の生えた最終的な形に変わること。
- 物の表面から反射されたり、透過したりする光の特性によって、目に感じられるもの。

Vol.832クロスワード 正解と当選

答えは「ムラサキシキブ(紫式部)」でした。

ア	タ	ラ	ズ	サ	ワ	ラ	ズ	ハ
ス	イ	イ	■	イ	カ	■	イ	ズ
レ	キ	■	ワ	カ	モ	ノ	コ	バ
チ	ヨ	ウ	セ	イ	チ	■	ウ	ラ
ツ	ク	エ	■	ハ	■	キ	■	イ
ク	■	キ	ヤ	ツ	カ	ン	テ	キ
ク	チ	バ	シ	■	モ	ダ	ン	カ
ラ	ン	チ	■	イ	ノ	イ	チ	バ
■	ブ	シ	■	イ	ロ	ハ	■	ユ
■	ユ	ウ	チ	■	シ	ヨ	ウ	コ

多数のご応募ありがとうございました。当選者の方々にクオカードをお送りしました。

芋生敏彦、佐々木伸弘(アサヌマ)、野島淳子(安藤ハザマ)、浜崎憲一、三並 努、山野真邦(奥村)、入谷結衣、大谷優依、原口和貴、東 竜世、松田有司、森 暉(鴻池)、小泉雄太郎(佐藤)、横山卓之(鉄建)、岡橋侑也、坂本佳理、長瀬由佳、野田龍之介、藤堂千聡、森 啓太(東洋)、島添嘉史、須藤有理、中野清彦、長谷川理恵、吉野 豊(戸田)、勝見嘉人(JS)、川口和彦(野村)、峯 純子(ピーエス三菱)、谷本順久(フジタ)、高橋潤子(松村組)

<敬称略>

編集後記

暖かな春の陽気に包まれる季節となりました。私を含め花粉症の方々には目薬などが手放せないツライ時期ではありますが、たまには外に出て季節の花でも愛でみるのはいかがでしょうか。また、4月と言えば入社や異動などで、新たな環境に身を置く方が増える季節でもあります。気持ちを新たに頑張る組合員の皆さんのこれからの活躍を応援したいと思います。

さて、今号に掲載している女性技術者会議では、「これからの子育てと働き方について考えよう」をテーマに、性別や職種・子育て経験の有無を問わず参加いただき、多様な働き方について討議した様子をお伝えしています。「子育てと仕事の両立にむけた働き方」と題した講義をはじめ、グループ討議では参加者がお互いの不安を共有したり、アイデアを出し合ったりと、子育て中の私にとっても大変参考になる意見が多くあり、まさに目から鱗が落ちる思いで聞いておりました。労働組合に関わる身として、男性が多い建設業界を、性別を問わず子育てに関わることができる、誰もが働きやすい業界に変えていかねばならないと、心に誓った所存です。皆さんも興味を持っていただけましたら、是非参加してみてください！

機関誌「Compass」は組合員の皆さんに日建協活動への理解を深めていただくための重要な広報媒体です。皆さんのニーズに的確に応える機関誌となるよう頑張りますので、これからも変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。ご意見・ご感想お待ちしております。

もや 船い

2023年12月3日、晴天の国立競技場。58-38でノーサイド。100周年のラグビー早明戦を明治大学が勝利した。

遡ること100余年。1921年の冬、慶應義塾三田綱町グラウンド。明治大学ラグビー部初代主将の能美一夫氏は初めて見たラグビーに魅了された。自分もラグビーをしたい。いつかルーツ校で無敗の慶應に勝ちたい。策を練るなかで、慶應のライバルであった早稲田に教えを乞うことに決める。早稲田大学ラグビー部の協力、譲り受けた1冊の解説書、一つの楯円球。ここから明治大学ラグビー部の歴史が始まった。1923年に大学から設立を認められると、初試合で慶應に挑む。結果は0対60の惨敗。新聞も「明大は押すことのみにとわれている」と酷評した。それでも「前へ」。

100年の歴史の「格」は、初試合で片鱗を見せた。「格に入って格を出でざる時は狭く、又、格に入らざる時は邪路にはしる。格に入りて格を出でて初めて自在を得べし」。1925年に発刊された早稲田大学ラグ

ビー部の部誌「鉄笛」創刊号の一節は示唆的である。「とにかくゴール、目標へ向かって一直線に走る」。「前へ」とは、1929年から67年間に渡り監督を務めた御大こと北島忠治氏のラグビー哲学を表す言葉。狭義では強力なFWを中心に戦う戦術として使われる。一見すると選手の個性を、窮屈にFW中心の戦術にはめこむようにも思える。しかし、この哲学が明大ラグビー部の憲法となり、学生は解釈・試行錯誤しながら、グラウンドで「前へ」を表現した。私が在校していた2000年代中盤は決して順風満帆ではなかった。それでも、愚直に明治らしさを失わずグラウンドを駆け回る友を見ながら、いつも大きな声で応援していた。「前へ」の言葉は、ラグビー部にとどまらず多くの明大生の人生の指針までも昇華し、卒業した後もなお、困難に直面した己を奮い立たせるために使われる。

4月になり、新入社員を迎える。私はふと考える。彼らにどんな「格」を伝えるべきか。(早稲田延べ8学部落ちの明大OB)